



タイタニック号は、どこにしずんでいるの

タイタニック号から発信した信号での位置は

1912年4月14日午後11時40分、2200名をこえる乗員・乗客をのせたタイタニック号は、北大西洋上で、氷山にぶつかりました。翌15日午前0時15分ごろ、タイタニック号から、救助を求める最初の信号が発信されましたが、その信号では、タイタニック号の位置を、北緯41度46分、西経50度14分としていました。タイタニック号がしずんだのは、午前2時20分ごろでした。

実際にしずんでいた位置は

1985年9月1日、アメリカとフランスの科学者からなる調査隊が、ビデオカメラを5台のせた深海探査機で、水深4000メートルの海底にしずんでいるタイタニック号を発見しました。その位置は、北緯41度43分、西経49度56分で、タイタニック号が発信した信号の位置から、東南東におよそ22キロメートル、はなれた所でした。この位置のずれは、信号を発信するときに、今いる位置をまちがえていたとか、氷山にぶつかってから、しずむまでの間に、海流によって流されたとか、いわれています。

地図上の位置は

タイタニック号が発見された位置を、地図で見ると、カナダのニューファンドランド島の南東方、グランド・バンクという浅い海域より、少し南の方です。（監修・青木 国夫）

